

日本 惨禍の歴史に学ぶ

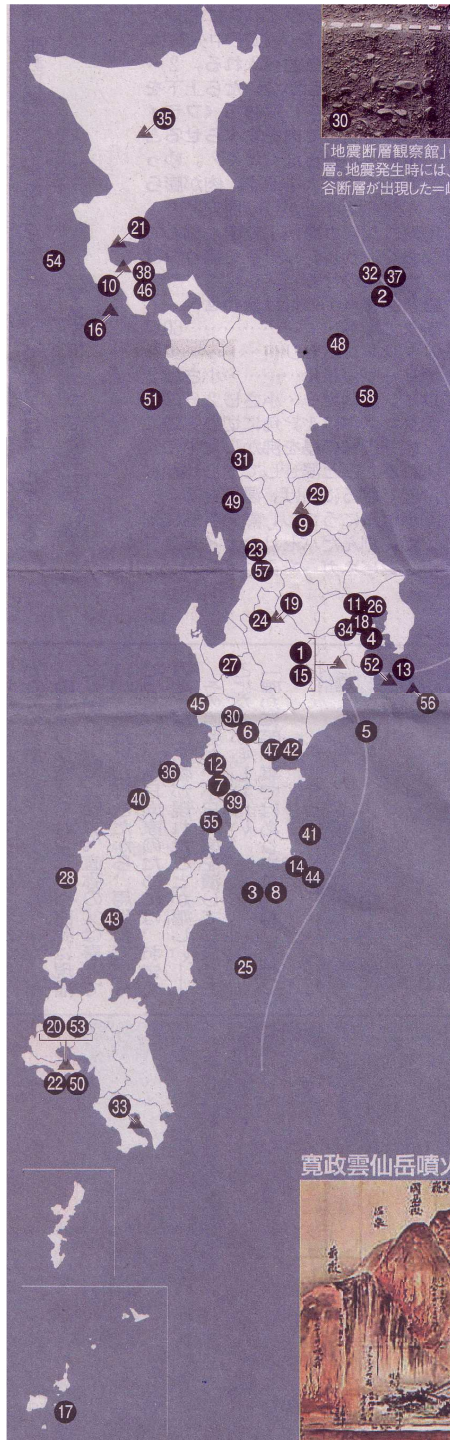
2013・5・26
朝日新聞

2011年の東日本大震災は日本の観測市場最大の地震でした。

その津波の威力は我々の想像を越える激しいものでした。

過去、日本の各地で大きな地震・津波・台風・噴火・大火が60回ほどおきています。

過去に起きた災害は、将来、再び起きる可能性が高く、
歴史に学び、めったにこない大災害への備えをしておくことが大切です。



- 平安 864年 1富士山貞観噴火 青木ヶ原溶岩が噴出、大きな湖を精進湖と西湖に分断、人家も埋没。
869年 2貞観地震(三陸沖)
- 鎌倉 1293年 4鎌倉地震(鎌倉) 23000人死亡
- 室町 1498年 5明応地震 南海トラフの巨大地震 各地で大津波 死者は伊勢大湊で5000人など
- 江戸 1657年 11明暦大火(東京) 死者10万人 江戸の大半を焼失 振袖火事
1703年 13元禄地震(関東) 相模トラフ沿いの巨大地震 死者約1万人
1707年 14宝永地震 南海トラフ 約2万人以上の死者、49日後に富士山噴火
1716、17年 享保噴火 霧島連山・新燃岳
1772年 18明和大火 1万8700人死亡
1792年 20寛政雲仙岳噴火 1万5000人死亡
1828年 22シーボルト台風 過去300年間で最大の台風 1万人死者
1847年 24善光寺地震 8000人以上の死者
1855年 26安政江戸地震(東京) 死者1万人位
- 明治 1896年 32明治三陸大津波 2万以上の死者
- 大正 1923年 34関東大震災
- 昭和 1927年 36北丹後地震 京都府北部の直下型地震。死者2925人
1933年 37昭和三陸地震 大津波で被害者は3064人、家屋の流失は約4000棟
1934年 38函館大火 市街地の三分の一が焼失。死者2000人以上。
1934年 39室戸台風 大阪を中心に死者・行方不明者約3000人
1945年 43枕崎台風 敗戦の混乱期に襲来、死者行方不明者3756人、広島で被害大
1948年 45福井地震 死者3769人
1959年 47伊勢湾台風 高潮で愛知、三重の0メートル地帯で被害大。死者・行方不明者5098名
- 平成 1995年 55阪神大震災 死者6434名 家屋全壊10万棟 震度7を初適用
2011年 58東日本大震災 日本の観測市場最大の地震